

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院腎センター内科及び虎の門病院分院腎センター内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2021 年 1 月～2024 年 8 月の期間、外来通院中の CKD 患者において RAS 阻害薬を中止した 18 歳以上の方を対象とする。

【研究課題名】

保存期 CKD 患者における RAS 阻害薬中止前後の腎機能の推移の検討

【研究の目的・背景】

レニン-アンジオテンシン系（RAS）阻害薬は、慢性腎臓病（CKD）の進行を抑制し腎保護効果があるとされてきた。しかし近年同薬剤使用に伴う血清レニン上昇作用が長期に続くことで腎小葉間動脈から輸入細動脈にかけての平滑筋細胞増殖が進行し、糸球体が虚血に陥り腎不全への進行が惹起されるとの可能性が指摘されている。今回、外来通院中の保存期 CKD 患者において RAS 阻害薬が適切に使用されているにもかかわらず腎機能低下速度が速いと判断され中止に至った患者について RAS 阻害薬を中止した前後の腎機能の推移について検討を行う

【研究期間】

2025 年 3 月 28 日 ～ 2026 年 3 月 31 日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院分院 澤直樹のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：検査結果、診療記録、薬歴など

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

腎センター内科 澤直樹

研究機関の長：院長 門脇 孝

【虎の門病院分院における研究責任者・研究機関の長】

腎センター内科 澤直樹

研究機関の長：分院長 竹内 靖博

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2025年6月30日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 腎センター内科 ・ 澤直樹

電話 03-3588-1111(代表)

虎の門病院分院 腎センター内科 ・ 澤直樹

電話 044-877-5111(代表)